

アジャイル開発で失敗しないための品質管理・品質保証の考え方【オンラインライブ】 (4124149)

昨今普及の進んでいる開発手法であるアジャイル開発。ですが、「なぜアジャイルなのか」を理解していないと、かえって開発がうまくいかないことや、品質に問題が生じることがあります。本セミナーではアジャイル開発の「落とし穴」を紹介します。そして、そういった失敗をしないためにはどうすればいいか、アジャイル開発における品質・テストの勘所を解説します。

開催日時	2024年11月8日(金) 9:00-16:00ライブ配信
カテゴリ	IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
講師	石原一宏 氏 (バルテス・ホールディングス株式会社 品質ビジネスイノベーション部 部長 兼 首席研究員) 年間2,000名を超える開発エンジニアにテスト・品質を教えるセミナー講師。 テスト技法の開発・研究・社内・社外の技術研修・教育業務。プロセス改善コンサルティング業務に従事しつつ、ソフトウェア検証業務に携わる。 開発者として大阪大学 工部学部教授とテストケース生成ツール「Unit44」を共同開発。 京都工芸繊維大学 水野修教授と、T-BASHの画像認識機能を共同開発・共同特許申請。 著書に『いちばんやさしいソフトウェアテストの本』、『ソフトウェアテストの教科書』。 PWI認定プロジェクト・マネジメント・プロフェッショナル(PMP)。JSTQB認定Advanced Level テストマネージャ。
参加費	J U A S 会員/ITC: 35,200円 一般: 45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信 (指定会場はありません)
対象	画像
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoomミーティング) [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

申込時アンケートにご回答ください

昨今普及の進んでいる開発手法であるアジャイル開発。

ですが、「なぜアジャイルなのか」を理解していないと、かえって開発がうまくいかないことや、品質に問題が生じることがあります。本セミナーではアジャイル開発の「落とし穴」を紹介します。

そして、そういった失敗をしないためにはどうすればいいか、アジャイル開発における品質・テストの勘所を解説します。

<受講者の声>

- ・アジャイル開発を知るのに、お勧め。演習の時間にてディスカッションできるので、良かった。
- ・開発プロジェクトに参加する人には一度は受けてもらいたい。なぜそれを採用するのか理解出来ていた方が、アジャイルを採用することへのモチベーションの向上につながると思う。
- ・同じようにアジャイル導入を検討しているかたが多く、自分も率直な質問ができ他の方の質問も勉強になり良かった。

◆主な内容

1. アジャイル開発の勘所と落とし穴

(1) アジャイル開発の特徴

- ・チーム全体アプローチ
- ・イテレーティブ・インクリメンタルな開発

(2) アジャイル開発のアンチパターン

- ・ミニ・ウォーターフォールの問題
- ・行き当たりばったりのイテレーション開発
- ・複数のチームで影響しあう部分のテスト

2. アジャイル開発とウォーターフォール開発の違い

- ・アジャイル開発とウォーターフォール開発の違うところ
- ・アジャイル開発とウォーターフォール開発の同じところ

3. アジャイル開発における品質管理・品質保証

(1) ふたつのテストファースト

- ・ 小さなテストファーストと大きなテストファースト
- ・ イテレーション計画とリリース計画

(2) DONEの定義と受入れ条件

- ・ DONEの定義とUNDONE
- ・ イテレーション内のテストファースト
- ・ ユーザーストーリーと受入れ条件
- ・ プロダクト全体を俯瞰したテストファースト
- ・ テストファーストの考え方で品質を向上させる

4. アジャイルテストの勘所

(1) アジャイルテストの特徴

- ・ アジャイルテストの落とし穴
- ・ アジャイルテストの特徴
- ・ アジャイルテストの構築方法

(2) アジャイルテストの事例

- ・ 開発・QAの平行稼働によるメリット
- ・ 短期リリースの中での品質確保